

平成 28 年度 2 月の市民の声（全 4 通のうち 4 通）

市民の声の内容と、そのお返事の一部を紹介します。

◇行事日程の重複・ふるさと納税について

【ご意見・ご提案など】

林市長殿、ご当選おめでとうございます。私は六高（六日町高校）で 1 学年下だった者です。現在は東京に住んでおりますが、下記の 2 点の実現をお願いしたいと思います。

1、南魚沼市縦断駅伝の日に、小学校・中学校行事が被らないような調整を

毎年、10 月最終日曜日に縦断駅伝が開催されていますが、五十沢地区の小中学校は同じ日に学習発表会を文化会館（南魚沼市民会館）で開催しているらしく、父兄が縦断駅伝に参加出来ない状況です。

必ずしも文化会館で開催する必要性も感じられないので、日程調整をお願いしたいと思っております。

2、ふるさと納税の返礼品の充実を

選挙の公約に揚げていた、ふるさと納税返礼制度の早期実現をお願いします。九州地区は返礼品の時価相当額が寄付金の 50%程度に設定されているようです。

是非とも全国一のふるさと納税寄付金額の市町村になるように、お願いします。実際のところ今年の寄付は間に合うのでしょうか？

以上、お忙しいとは思いますが、是非とも郷里のご発展のためにご尽力ください。

（平成 29 年 2 月 2 日）

【お返事】

行事日程の重複については、五十沢小学校と五十沢中学校に平成 29 年度の日程を調査しました。その結果、10 月 22 日（日）の午前中に小学校の学習発表会を、午後に中学校の合唱祭を計画し、市民会館を予約していることを確認しました。また、両校に子どもが在籍する保護者のために、日程を調整して同日開催とするよう工夫していることもわかりました。

中学校では「部活動の秋季大会が終了してから合唱祭の準備に入ること」、「今年閉校記念事業などがあり日程に余裕がない」などの理由から、日程変更は困

難だと思われます。

一方、南魚沼市内縦断駅伝は例年 10 月の第 4 日曜日に開催し、これが定着しています。選手もこの日を念頭に練習メニューの調整をしており、開催日の大幅な変更は困難です。今年も 10 月 22 日（日）に予定していますが、市議会議員選挙の日程により 1 週間程度前後する可能性があります。選挙日程は、4 月に開催される選挙管理委員会で決定となる見込みです。

ご指摘いただいた事項は各学校と社会教育課に伝えてありますが、それぞれに事情があります。このため、簡単には解消できない問題だと考えています。

ふるさと納税については、今年から返礼品を設定するために準備を進めているところです。単にふるさと納税の額（総額）を増やすのではなく、市への実収入（純益）が多くなるように制度設計しなければなりません。平成 29 年度のなるべく早い時期に実施できるよう、関係者と協議を進めます。また、その際には周知活動などにご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

（担当：学校教育課、社会教育課、財政課、地方創生推進室）

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇杖置場の設置について

【ご意見・ご提案など】

私は障がい者で杖を使用しています。各課へ用があつて来庁しても、杖の置き場所がなく困っています。

(平成 29 年 2 月 7 日)

【お返事】

市役所へ来庁した際に、カウンターへ杖を立てかけられるようにしてほしいとのご要望について、回答いたします。

杖をカウンターへ立てかけた際に、転がり落ちることのないように止める道具が市販されています。これを、市民の皆様が多く利用する総合窓口の各カウンターへ試験的に設置したいと思います。好評であれば、他のカウンターへも取り付けたいと考えます。

これまでご不便をおかけし、申し訳ありませんでした。

(担当：財政課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇市民バスについて

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市市民病院への市民バス・通院バスの直通バスについて。
基幹病院が開院以降、病院改革があり大和地区の老人から、市民病院に行く事が多々あるが直通バスが無くて、バスの乗り替えが大変だ、足腰が不自由でステップの上り下りが大変という話があった。南魚沼市の集落で直通バスの無い集落があるのか？あったとしたら、改善をお願いしたいとの事。

(平成 29 年 2 月 9 日)

【お返事】

市では移動手段を持たない方の日常生活における足を確保し、交通空白地域を解消することを目的として、路線バスと同じように運輸局の許可を受け、定期路線として市民バスを運行しています。

市民病院及び魚沼基幹病院への通院については、電車や路線バスをご利用いただくことを前提に考えております。しかしながら、足腰の弱い方や障がい者にとっては、乗り継ぎが容易でないことも理解しております。

改善の一環として、現在、市民バスの大崎コースを延伸し、魚沼荘で城内コースの市民バスに乗り継ぎができるよう調整しております。また、既存の路線バスを市民病院と魚沼基幹病院に延伸するよう関係機関と協議しておりますので、もしばらくお待ちいただきたいと思います。

市民バスの車両につきましては、運行事業者からステップをもう一段取り付けてもらうよう改善を進めております。

路線バス、市民バスとも地域の重要な公共交通機関のひとつです。今後も運行が継続でき、多くの皆さんからご利用いただけるよう、改善を重ねてまいります。

(担当：都市計画課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇小学校のスキー授業について

【ご意見・ご提案など】

市内の小学校では、冬季にスキー場へ行きますが、学校によってお昼を食べてくるところとそうでないところがありますが、なぜですか。

我が子は六日町地域の小学校ですが、午前中の授業のみで帰ってきてからお弁当を食べます。

友達の子供は、スキー場でカレーかチャーハンを食べてくるそうです。もちろん別途お金はかかりますが、スキーの持ち込みなどの作業を考えると、お金がかかってもスキー場で食べてきてくれたほうが親は助かります。また、友達とロッジで食べるのもいい思い出になると思います。ぜひ、我が子が通う小学校でも、来年度からお昼込みでやってもらいたいです。午後の授業を入れなくても、お昼を食べて帰ってくる、というスタイルでもいいのではないかと思います。

(平成 29 年 2 月 9 日)

【お返事】

スキー場における学習は、各学校によって実施する学年や回数、時間、場所、移動方法、昼食などが大きく異なっています。

お子さんが通学している小学校では、児童数が多いためにバスが 2 台必要となり、午後までスキー授業を実施すると帰りのバスが確保できなくなります。さらに、午前のスキー授業を 2 回実施する方が、午前・午後と一日で実施するより技術の向上が図られると考えています。

滑る時間を少しでも確保するため、スキー授業の時は保護者にお弁当の持参をお願いしています。給食を食べる場合は、現在よりも 30 分早く学校に帰らねばならないからです。

お弁当をやめ、スキー場内の飲食店で昼食をとる場合は料金が発生します。リフト料金やレンタルスキー代、ウェアや手袋の用意など、保護者には既に金銭的負担をお願いしています。これを重荷に感じている保護者も、少なくありません。

これらの理由から、お子さんが通う小学校ではスキー場内の飲食店を利用した昼食を実施しておりません。お弁当の用意も大変だとは思いますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

(担当：学校教育課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658